

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	造形材料演習						
科目区分	専門科目	単位数	4	開講時期	2年次後期		
必修・選択の別	デザインコース:必修科目 建築工学コース:選択科目 建築コース:選択科目						
担当者	松本誠一						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・木材の性質を理解できる。 ・プラスチックの性質を理解できる。 ・造形材料の加工技術を理解できる。 ・造形材料を加工して制作することができる。 						
日程と内容	<p>第1回 導入講義 授業の概要と進め方 成績評価の方法</p> <p>第2回 木材の性質1 企画・図面作成</p> <p>第3回 木材の性質2 木材の加工1 (板取り・切断)</p> <p>第4回 木材の加工2 (切断・接着)</p> <p>第5回 木材の加工3 (接着・仕上げ)</p> <p>第6回 アクリル板の性質 企画・図面作成</p> <p>第7回 アクリル板の加工1 (板取り・切断)</p> <p>第8回 アクリル板の加工2 (接着・研磨)</p> <p>第9回 注型ポリエステル樹脂の性質 注型用型の企画・図面作成</p> <p>第10回 型制作1 ポリエステル注型1</p> <p>第11回 型制作2 ポリエステル注型2 脱型・研磨</p> <p>第12回 ポリエステル注型3 脱型・研磨</p>						
成績評価基準	定期試験	80%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション	20%			
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	自由課題の作成まで到達した学生は、概ね授業到達目標を達成できたものと判断している。履修登録者30名のうち5名は途中で授業を放棄している。						
反省点	欠席等で進捗の遅い学生が複数あり、全体の進行を妨げている。稚拙な図面しか作成できない学生がいる。将来、図面を扱う(かく・読む)職業につくことはないと思われるので、深くは追求していない。						
来年度の計画	本年度と同等の内容を実施する予定。授業の進行についてこれない学生は居残りさせるなど、きちんとフォローする予定。						
授業評価アンケートに対するコメント	記すべき自由記述はなし。学生の授業評価は8.1。						
履修登録者数	30名	定期試験 受験者数	25名	合格者数	25名	合格率	100%